

第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会（第24期第8回）

議事要旨

日 時 令和2年9月3日（木）13:30～15:30

会 場 ビデオ会議

議 題 等

1. 提言案「感染症対策と社会変革に向けたICT基盤強化とデジタル変革の推進」
2. 次期に議論すべきこと
3. S20コミュニケなどに関する議論と報告など

出 席 者

分科会委員（敬称略）秋葉、田中、高井、小松、糠塚、平井、舘田

オブザーバー 中川晋一先生、三嶋廣繁先生、郡山千早先生、高倉弘喜先生、
加藤茂孝先生、岸玲子先生、柴山明寛先生

議 事

1. 秋葉委員長より提言案「感染症対策と社会変革に向けたICT基盤強化とデジタル変革の推進」について、これまでの議論を取りまとめ、情報学委員会ユビキタス状況認識社会基盤分科会と合同で表出する提言として9月10日の幹事会に上程し御審議を頂くこととなった旨説明があった。また、分科会として改めて本件提言案を承認した。今後の幹事会審議を踏まえた修正等については、委員長一任にて進めることとなった。
2. 次期に議論すべき課題として、参加メンバーから以下の点が挙げられた。
 - 最も大きな課題は、「感染症専門家の人材育成」。また、行政とアカデミアの連携について。
 - ・各都道府県知事と連携し、各都道府県に教育プログラムを組み込んでいけないか
 - ・教育プログラムは、永続的なものである必要があるため、正式の講座を置くべき。
 - ・各大学および感染症指定病院に感染症専門家を常勤で配置する必要がある。大学および感染症指定病院の感染症対策の強化、そして、育成された人材の受け入れ場所の確保のため。
 - ・看護・介護の分野での課題について検討する。また、獣医の公衆衛生領域についても含めて検討する。
 - ・いろいろな学会がそれぞれに提言を表出しているので、それを取りまとめて日本学術会議から表出すると、インパクトがあるのではないか
 - 第二提言でカバーできなかった部分として、医療デジタル変革に特化した提言が必要。
 - 第一提言で提言した「連携」の具体の中身について、もっと議論していく必要がある。
3. 郡山先生よりS20での議論について説明、報告があった。

以上